

秋冬野菜の栽培に向けて

秋から冬にかけて、気温がだんだん低くなっていきます。

そこで、秋野菜の栽培についてはタネまき・植え付けが遅れたり早まったりすると肥大が不足したり、とう立ちが発生したりします。

*とう立ちとは・・・アブラナ科などでは低温・短日条件で花芽が分化します。
この花芽が生長することをとう立ちといいます。とう立ちすると葉野菜では、葉ができず、根野菜では根が太りません。

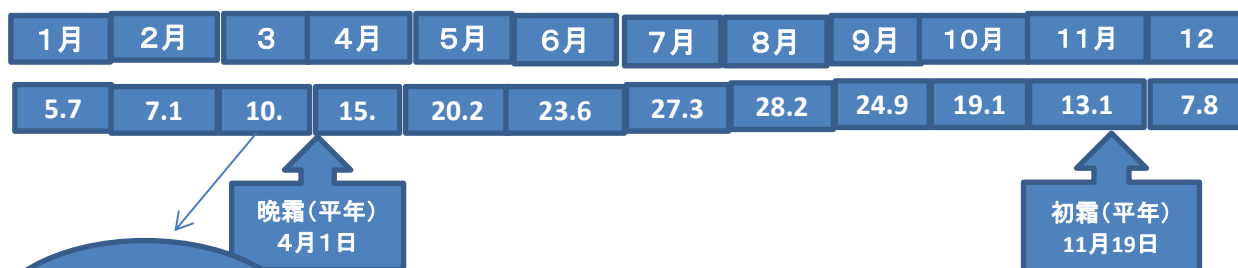
そこで、収穫したい時期に合わせて適正な品種選びと適期のタネまき・植え付けが必要となります。

◎品種選びのポイント

- ① 早晚性・・・生育の早さに合わせて極早生、早生、中早生、中生、中晩生、晩生などがあります。
- ② 耐病性・・・その品種が持っている病害虫に対する抵抗性
- ③ 抽苔性・・・秋から冬の栽培条件下でとう立ちしやすいかどうか。
- ④ 耐寒性・・・寒さに対する強さ

秋野菜の栽培適温については、次の通りですタネまき・植え付けの参考にしてください。(* 品種選び、タネまき・植え付けの時期については、品種の説明書内容を確認して下さい。)

熊本地方気象台 月平均気温(°C)



秋に作付ける主な野菜	栽培適温	秋に作付ける主な野菜	栽培適温
キャベツ	15～25°C	ダイコン	17～20°C
ハクサイ	15～20°C	タマネギ	15～25°C
レタス	15～20°C	ジャガイモ	15～20°C
カブラワー	10～15°C	ニンジン	15～20°C
ハウレンソウ	15～20°C	ゴボウ	2～25°C
コマツナ	10～25°C	葉ネギ	15～20°C
シュンギク	15～20°C	ワケギ	15～20°C
ミズナ	10～25°C	ニンニク	18～20°C
チンゲンサイ	15～20°C	ミョウガ	22～25°C

「熊本の野菜」(社)熊本県野菜振興協会 参照

連作障害を防ぐために輪作を！